

## 福祉サービス第三者評価結果公表事項

### ① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人福祉総合評価機構愛媛県事務所

### ② 施設・事業所情報

名称:中川さくら保育園	種別:保育所	
代表者氏名:園長 越智 妙子	定員(利用人数): 90名	
所在地:〒791-0531 愛媛県西条市丹原町来見甲 1051 番地		
TEL:0898-73-2308	ホームページ:なし	
<b>【施設・事業所の概要】</b>		
開設年月日 昭和 27 年 4 月		
経営法人・設置主体(法人名等):社会福祉法人 中川さくら保育園		
職員数	常勤職員:17名	非常勤職員:7名
専門職員	保育士12名、栄養士1名、調理師2名	保育士5名
施設・設備 の概要	保育室6、教材室、ランチルーム	(設備等)
	給食室、事務室、医務・相談室	建物延面積 665.93 m <sup>2</sup>

### ③ 理念・基本方針

#### 《理念》

- \* 保育園は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設である。
- \* 保育園における保育は、ここに入園する乳幼児の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしいものでなければならない。

#### 《保育の基本方針》

- \* 家庭や地域社会との連携を図り、家庭の個別性や自己決定の権利を十分に尊重しながら保護者の力を信じ、思いに寄り添い、一緒に子育てをしていく。
- \* 子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図る。
- \* 子どもを一人の人間として尊重し、養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する。
- \* 地域における子育て支援のために、子育てを楽しみと思える、子育てにやさしい環境づくりを進めていく。

### ④ 施設・事業所の特徴的な取組

平成26年11月に現在の場所に新築移転した、バリアフリーで広く採光をとった開放的な施設である。昭和27年開設以来、地域に根差した保育を行っており、親子孫3代にわたって当保育所を利用したという家庭もある。従来から保育所利用者にとどまらず、地域の子育て相談などにも積極的に応じてきたが、保育所内に子育て支援センター「さくらんぼ」を開設し、さらに地域の子育て支援拠点として活動を発展させている。

### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 29 年 1 月 16 日(契約日) ～ 平成 29 年 3 月 30 日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	なし(今回が初回)

### ⑥ 総評

#### ◇特に評価の高い点

送迎時の声掛けや連絡帳により、日常的に保護者とコミュニケーションを取るよう職員から積極的に働きかけており、アンケートでも「アットホームな雰囲気」「子ども・保護者ともに職員と話やすい、相談しやすい」点を保護者から高く評価されている。

保育の内容や方法については、地域との交流による多くの園外活動、絵やカードを使って基本的な生活習慣を分かりやすく身に着けさせる工夫、食に関する豊かな経験を目的としたクッキング年間食育計画など、子どもの発達に合わせて様々な充実した取り組みを行っている。

子育て会議、子育て連絡会などに積極的に関わって、地域のニーズに応えるとともに、必要に応じて円滑に社会資源を活用できるようネットワーク作りに取り組んでいる。

また職員の定着率が高く、経験豊富なことも、保護者の信頼を得ており、高く評価されている。

#### ◇改善を求められる点

今年度から中・長期計画を策定し、事業計画も大幅に内容を見直したが、参画した職員に限られている点や、評価可能な目標設定が少ないことなどが、課題となっている。今後さらに事業計画策定をはじめとした組織運営について、職員の参画と記録の充実、関係者への周知、評価結果の公表などを推進して、より組織的に経営管理を行うことが求められる。

職員一人ひとりの目標設定や達成度の確認を行うとともに、臨時職員の正規化、昇進・昇格の人事基準をはじめとした総合的な人事管理に向けての取り組みも今後の課題である。

また、各種マニュアルにおいて具体的な手順の記載が不十分なものや、見直しの仕組みが不明確なものが見受けられた。新規採用職員にとってもわかりやすいマニュアルの整備と、組織的な見直しの仕組み作りが望まれる。

### ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価の結果を受けて、保育園として、家庭的な雰囲気を大切にしたいという今までの思いが、保護者にも職員にも伝わっていることをうれしく思えたが、その気持ちに甘んじることなく、これからも今まで以上に一人ひとりの子どもや保護者に寄り添えるきもちや安心できる環境作りに取り組んでいきたい。

そして、社会福祉法人の、地域へ還元として子育て支援が広がり、より深く、地域に根ざすことのできる保育園の運営を図っていけるように気を引き締めていきたい。

また事業計画を策定したが、内容も見直すところも多く、大きな課題をいただいた。今後、長期における経営をスムーズに行うためにも、今回指摘していただいたことを真摯に受け止め、見直しや整備を行うように取り組んでいきたい。

第三者評価を受けたことで、自分たちの足元や、できていないことなどが明解になってきたことにより、より良い保育園になるためにこれから取り組む具体的な課題が見えたことが大きな成果であったと思う。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。